

# 特許明細書の文書品質を高め、 「知財コスト」を劇的に削減する方法を教えます

2017年1月11日

## はじめに

ハードウェアおよびソフトウェア技術に基づく製品は、周知のように、他の製品と「互換性」がとられていなければ市場で栄えることはできない。文書の世界においても、そこで記述されている知恵や技術を世界の中で流通させるためには、できるだけ「互換性」のとれたものでなければならない。

日本語の文面に忠実翻訳した「和製型英語」を、そのまま渡したのでは各出願国での「**翻訳バラツキ**」が大きく、**各々の国が違う内容の特許出願明細書**になって収支がつかなくなる。

「日本特許出願明細書」が、英語型に近い日本語で書かれていれば、翻訳者は翻訳ソフトの支援を受けながら翻訳作業を進めることができ、翻訳作業の生産性と翻訳品質は格段と高まる。**この基準となる「英文特許明細書」**を各国の現地代理人へ渡して「特許出願」を依頼すればよい。

この基準となる「英文特許明細書」は、欧州語、露語、北京語など、他言語への翻訳作業に翻訳ソフトの支援が受けられるので現地代理人も歓迎する。現地代理人の現地翻訳を確認する場合でも、翻訳ソフトで逆翻訳し、英語へ戻して、この基準となる「英文特許特明細書」と比較すれば、確認したい箇所や質問もしやすくなる。

**この基準となる「英文特許明細書」は、社内の「文書品質管理体制」を築くだけでなく、知財コストの削減に繋がる。**こんな美味しい改善策は他に無い。

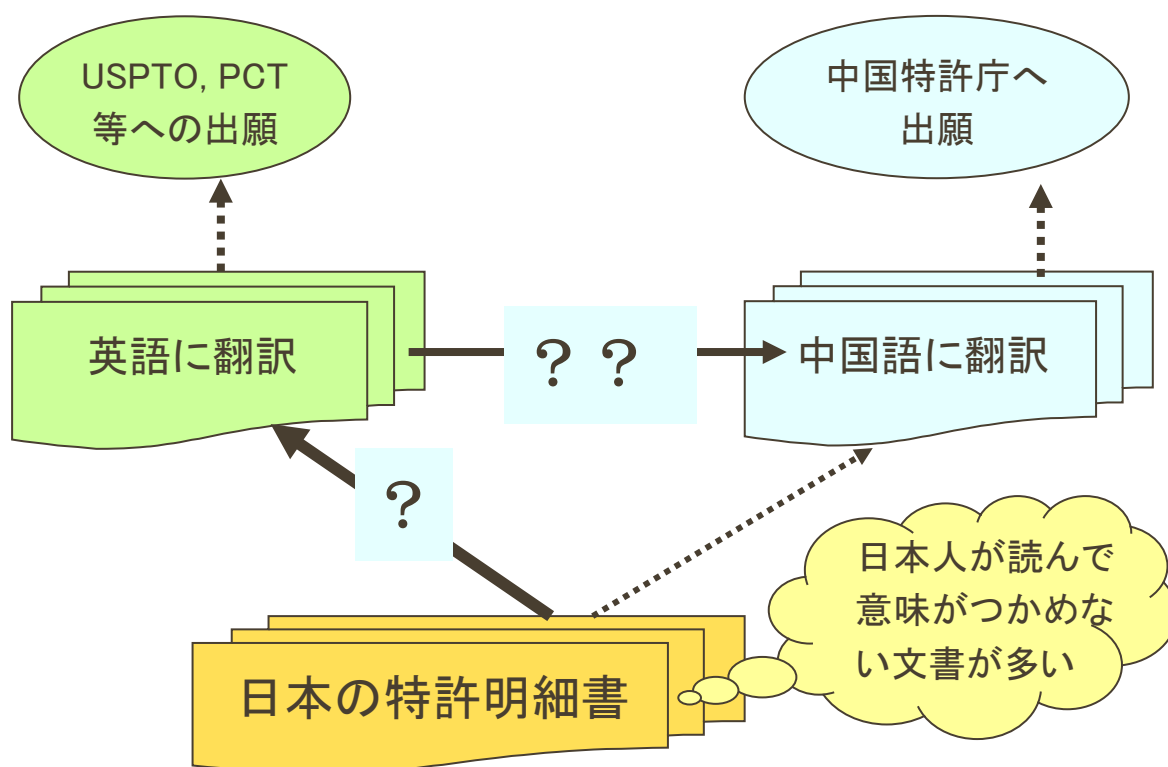
他言語と互換性のある、すなわち平明で伝わる日本語で記述するスタイルを確立していくことは、これからの日本にとって極めて重要なことである。このまま放置すれば知財文書の品質劣化が止まらず、場当たりの処置していく対策費用は膨大となり、やがて「知財倒産」を引き起こす。

# 曖昧な日本語が引き起こす、 各国間で整合性が取れない特許明細書が問題

国際出願での PCT (Patent Cooperation Treaty) の約束の下では、  
国内出願の優先権は認めるが、それを英語で提出するときは、国内で出願した内容と同じ事項を記せ、となっている。

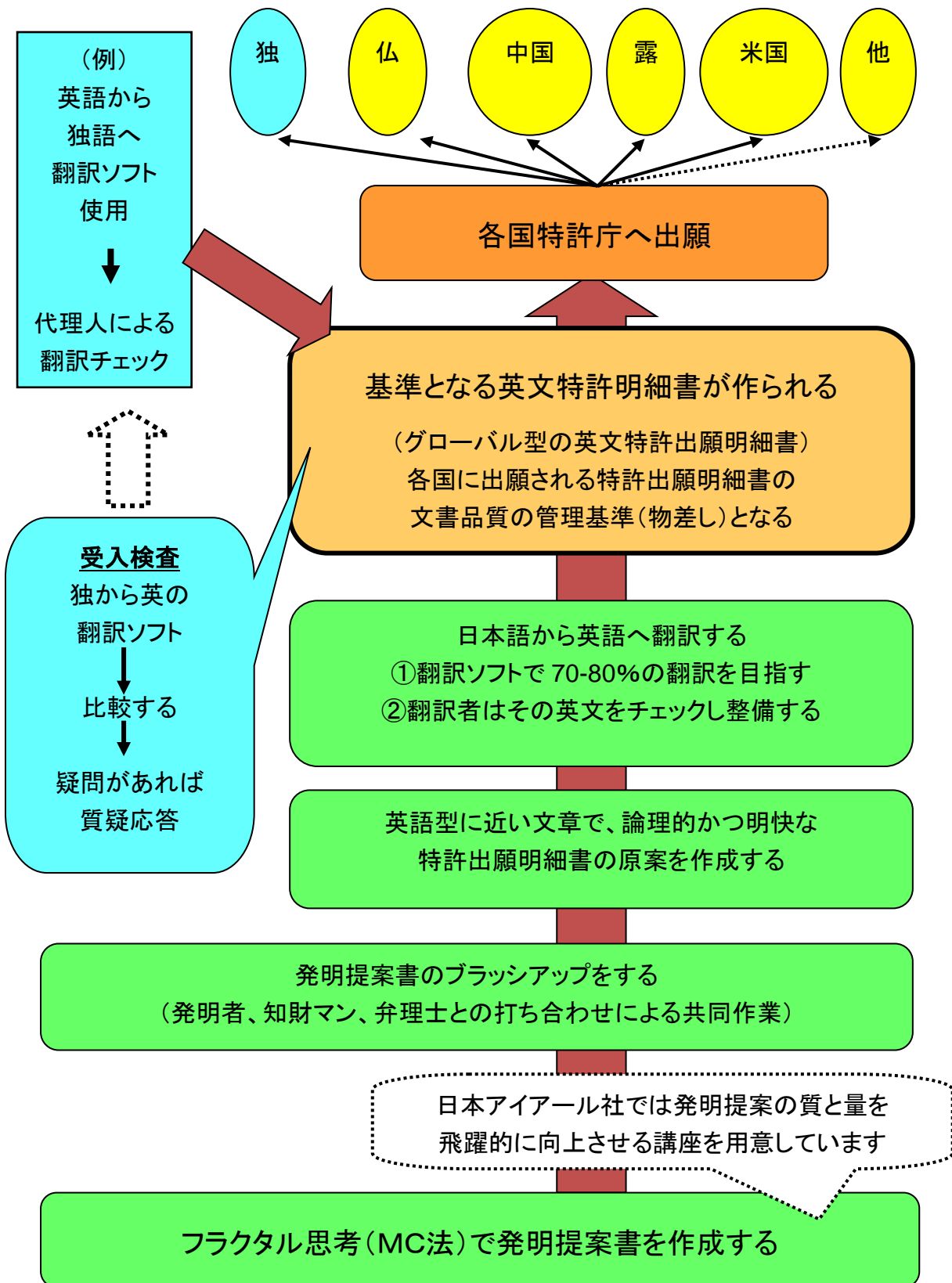
至極当然のことである。優先権を認めた出願と英語で記述されたそれが異なる記述をされていれば、そこで主張されている発明が別物になってしまう恐れがでる。  
現状は、世界各国の特許明細書と整合性が取れていない可能性がある。

## 【例：英文と中国語】



# 世界各国向けに共通となる特許明細書を作る

— 知財文書の品質向上と知財コストの削減を実現する方法 —



# なぜフラクタル思考で発明提案書を作成するのか

## — 知識を知恵に変える —

### 1. 技術者の発明能力が向上する

- ・アイデアが出やすく、発明が早く完成する
- ・発明のバリエーションが増える(権利の囲い込み)

### 2. 技術者の論理力が鍛えられる

- ・「物・事・考え」を伝える説明力と文章力が身に付く
- ・矛盾のない整合性の取れた文書が作れる
- ・発明の本質を明確に捉えることができる

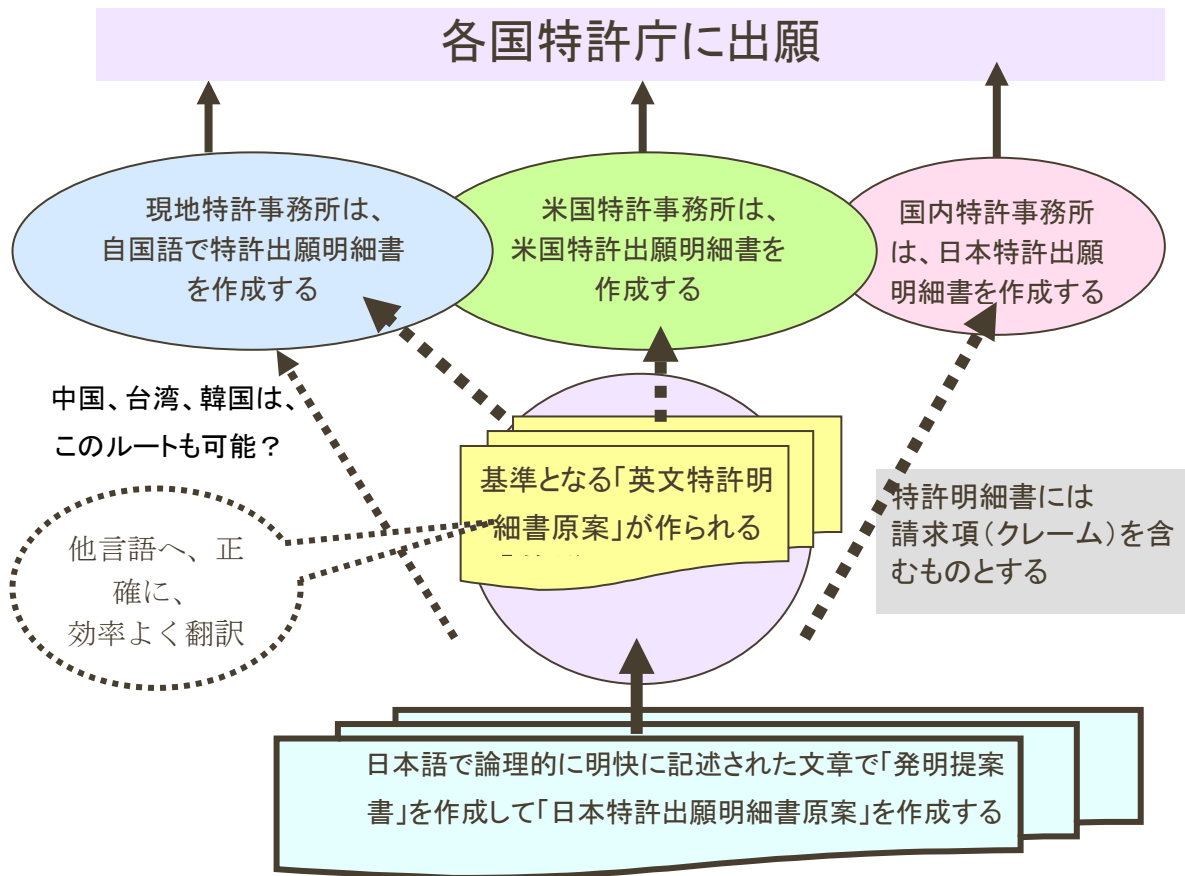
### 3. 技術者の「特許知識」が深まる

[例えば次のような問題点が見えてくる]  
特許要件(\*)の足しにもならない、あるいは妨げ  
となる悪文を撲滅できる

特許明細書の作成費用と翻訳コストが極小化できる

1. 「長文は悪文」 余計なこと、重複文を無くす
  2. 曖昧表現、説明不足、抜け(漏れ)を無くす
  3. 過度な限定が無い広い強固なクレーム(請求項)が創れる
  4. 「アイデア→発明→特許にする」プロセスが習得できる
  5. 文書品質を向上させ、知財コストも劇的に削減できる
- (\*)新規性(非自明性)、進歩性、サポート要件(効果再現性)、  
実施可能要件、明確性の5要件で開示すれば済むことである  
発明の未完成なども判断でき、拙作な出願防止に繋がる

# 各国と共通になる特許出願明細書を作成する



技術の説明に適した言語は英語

・英語が苦手だと世界で通用する「特許出願明細書」の改善は難しい？

↓

・英語へ翻訳しやすい「伝わる明快な日本語」で記述すれば済む

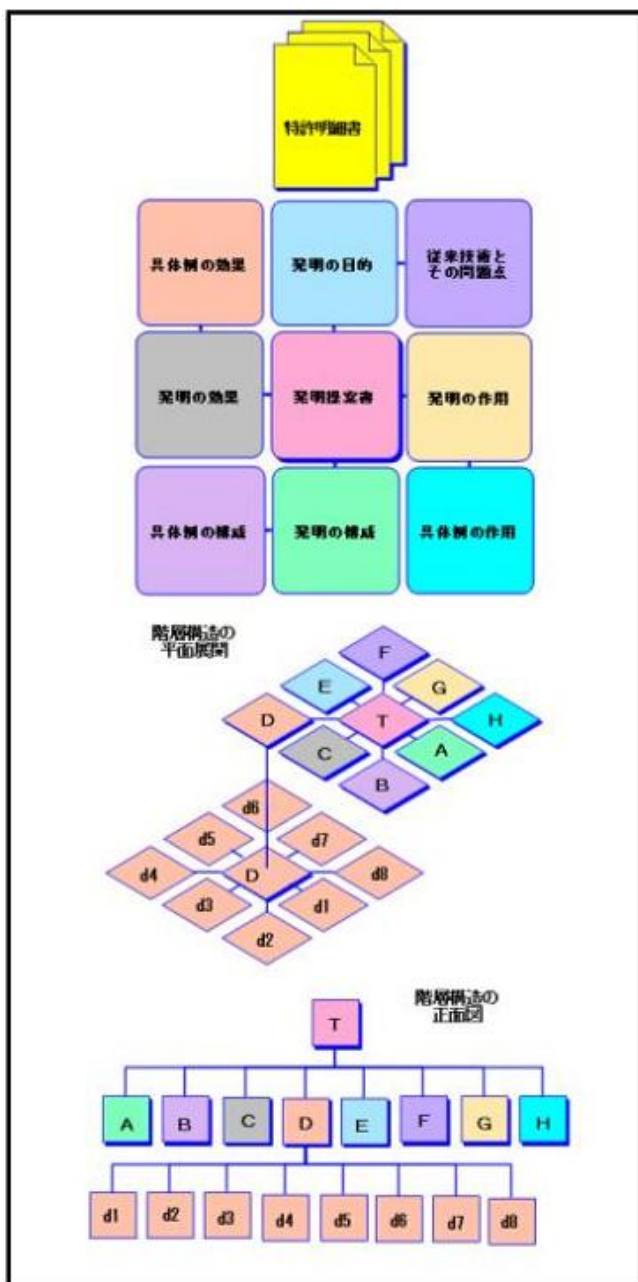
(技術の説明には文才は必要なく文明の言語で良い)

・論理的文書の2要素とは、①論理的(論理思考で物事を突き詰める)に  
文書を構成(展開)すること、②分かりやすい文章で記述することである

・英語で記述されている「物、事、考え」と同じ内容を日本語文章で明快に  
書けるように訓練すれば良い。とにかく真似するのが手っ取り早い。翻訳  
ソフトの支援が得られる英語型に近い日本語で記述することで、徐々に  
英語に慣れてくる筈だ。

# 【資料-1】:フラクタル思考(MC法)の入れ子構造図

特許明細書の構成は、図に示すとおり四項目しかない。この四項目の上位階層から具体的な説明を下位階層へ展開していけば良い。階層は無限である。順序を気にしないで書きたいところから書き貯めておけばよい。発明ノートの役目も果たす。とにかく文章は明快に、短かく書くことがポイントである。



## 上位概念・項目

1. 従来技術の構成  
⇒「今までこうなっていたので」
2. 従来技術の作用  
⇒「こんな時にこんな状態となるため」
3. 従来技術の欠点  
⇒「こんなに不便だった」
4. 課題の設定  
⇒「そこで、こう改善したい」

## 中位概念・要旨

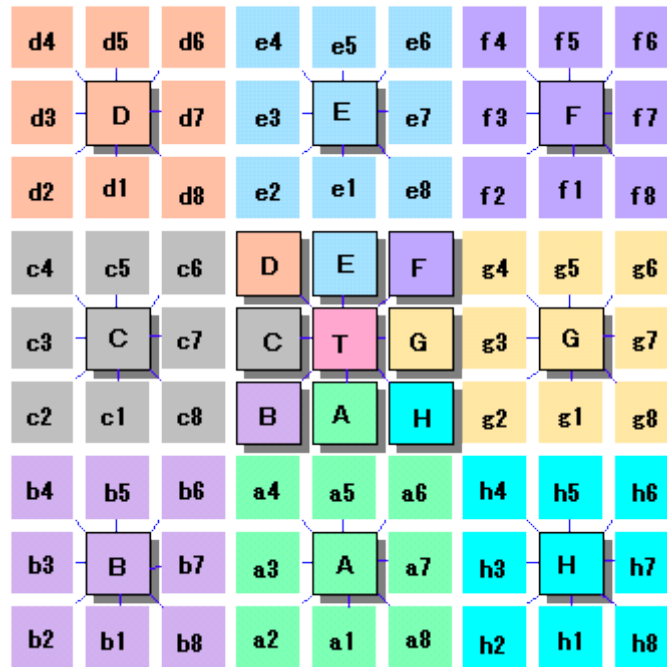
1. 従来の技術と発明との共通な構成  
⇒「両方共このようになっている」
2. 発明の構成  
⇒「そこで、今度はこうしたので」
3. 発明の作用  
⇒「こんな時にこんな状態になるため」
4. 発明の効果  
⇒「こんなに便利になった」

## 下位概念・具体例

1. 具体例の構成  
⇒「必要な機能を果たすための具体例」
2. 具体例の作用・効果  
⇒「各具体例はこんな状態になるため」  
⇒「各具体例はこんなに便利になった」

〔資料提供: 長谷川公彦〕

「参考図-1」:階層構造の平面図(2階層)



「参考図-2」:階層構造のXY表示



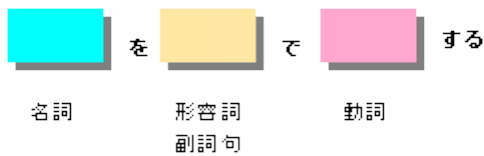
## 「参考図-3」:階層構造のXY表示

明快な日本語で記述して行けばよい:(文才は要らない)

### 1. VEの機能定義



### 2. 等価変換理論のcε辞典法



### 3. 技術概念の定義



フラクタル思考を活用することの効果

論理思考が身に付くことで、自分の頭で考えるようになる

- 1.受身での仕事が少なくなる
- 2.問題(課題)を見つけやすくなる
- 3.課題解決の道筋が早く見つかる
- 4.物ごとの本質が見えるようになる
- 5.物ごとを多面的に捉えるようになる、等



グローバル世界で活躍ができる人材になれる

(\*)フラクタル思考(MC法)をソフト化して「見える化」したのが「メモダス」です



# 【資料—2】: PRESIDENT 2016. 3.22 号(別冊)

発行: プレジデント社

—まったく新しい「英語の学び方」: 日本語的な表現に極端に弱い「英訳」—

(プレジデント本文 78P を引用)

元の和文を「英語に近づける」だけで、劇的に良くなる「英訳」(excite を使用)。

メール文章ですが、参考になるとと思います。

元の和文を「英語に近づける」だけで、劇的に良くなる「英訳」(Exciteを使用)

原文 ● 日本人向けに書いているのと同じ

2015年12月20日にご注文いただきました  
特注の超精密ボルトの  
納期なのですが、弊社の都合により  
当初予定していた3月5日から3月12日へ  
1週間ほどズレ込んでしまいます。

You ordered on December 20, 2015.  
A due date of a custom-made  
super-precise bolt.  
From March 5 scheduled at first  
by our convenience.  
I slip for about 1 week  
to March 12 and it's crowded.

0 点

改善ステップ ①

①短文にする ②日本語的な表現を改める

2015年12月20日にご注文いただきました  
特注の超精密ボルトについて、  
ご連絡いたします。当初、製品を3月5日に  
納品する予定でしたが、約1週間遅れてしまい、  
3月12日にお届けする予定です。

I'll inform you of the custom-made  
super-precise bolt you ordered  
on December 20, 2015.  
It was expected to deliver a product  
on March 5 at first, but it's expected  
to be late for about 1 week  
and deliver it on March 12.

ほぼ意味が通じるようになった

50 点

改善ステップ ②

①さらに短文化 ②主語や代名詞を入れる

あなたが2015年12月20日に注文した  
超精密ボルト(特注)について、お知らせします。  
私たちはこの製品を3月5日に納品する  
予定でしたが、それが不可能になりました。  
発送は1週間遅れます。私たちは、その商品を  
3月12日にあなたにお届けする予定です。

I'll inform you about  
the super-precise bolt you ordered  
on December 20, 2015 (special order).  
We were planning to deliver this product  
on March 5, but that became impossible.  
Shipping off is behind schedule for 1 week.  
We're planning to report the goods  
to you on March 12.

一部間違いがあるものの、  
海外の人に出してもOKなレベル

80 点

実践編

入れる日本語を少し直したら0点の和訳がなんと80点に

# 各国共通の「特許出願明細書」 を作成するために、このような方法もあります

## 【とある「大手企業知財部」の悩み】

英語型に近い日本語が、なかなか上手く書けないでいます。委託を受けた翻訳者は、恐らく英語へ翻訳しやすい「日⇄日翻訳」を経て英語翻訳をしているのが現状とおもいます。しかし、原文に対して忠実に翻訳するのが基本ですから日本特有の英語（和製英語）が入り込みます。

「日⇄日翻訳」をしながら英語（イングリッシュ）に翻訳できる外国人翻訳者がいれば良いのですが、曖昧日本語（多義的）が読みきれない外国人翻訳者はいないようです。「日本語→英語翻訳」の限界を感じています。

## 【この悩みを解決している、中小専門メーカー】

日本特許出願明細書を読みなれた日本語の堪能な中国人弁理士へお願いしています。在日20年以上の経験があり、曖昧、意味不明な部分は直接お会いして打ち合わせすることで解決しています。

「日⇄日翻訳」をしながら中国特許出願明細書（英語型に近い北京語になる）を作成したあと、「英文特許出願明細書」を作成してもらっています。この「英文特許出願明細書」を各国へ提出するようにしています。（北京語⇄英語の翻訳ソフトの相性もよく、上手に付き合っているようです）

アジア諸国に出願依頼するときは、現地事務所に「中国特許出願明細書」も提出しています。なぜならアジア諸国の特許事務所の幹部の多くは中国人です。中国弁理士の仕事用語は、英語と中国語ですから「中国語⇄英語翻訳」については問題ありません。

重要なことは、「日⇄日翻訳」しながら、分かりやすい中国語（北京語）へ翻訳できる中国弁理士と出会うことです。いずれにせよ、今お世話になっている中国弁理士先生の負担を少しでも軽くするため、中国語へ翻訳しやすい日本語で「日本特許出願明細書」を作成するように日々努力しています。お陰でどのような日本語表現が外国人にとって理解が難しいのかが分かるようにもなりました。

世界の人へ伝わらない文書では、我が社の知性が疑われます。また世界から孤立しない文書作成に邁進しています（A製作所）